

## 中学校第3学年 社会科（公民的分野） 単元名「よりよい社会をめざして」

### 1 本単元で人権教育を進めるにあたって

本単元は、持続可能な社会を形成するという観点から、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を設けて探究し、自分の考えをまとめさせ、これらの課題を考え続けていく態度を育てることを主なねらいとしている。

本学習では、生徒一人一人がこれまでの学習をもとに、地球温暖化、人口増加と貧困、世代間・男女間の不平等、障がいのある人たちの社会参加、地域紛争と難民などをテーマにレポートを作成する。その中で、人権を支援し、擁護するために活動している機関や人々にも気付かせ、その活動の内容や果たす役割について理解させたい。

様々な課題を解決していくためには、人権を支援し、擁護するために活動している国内外の機関等の役割は大きく、その活動の目的や内容を知ること、これから自分たちにできることは何かについて具体的に考えさせ、社会参画へとつながる学習としたい。

### 2 単元の目標

持続可能な社会の形成に向け社会参画するにあたり、自然と環境、人権と平和、医療と開発など、私たちがよりよい社会を築いていくために解決すべき課題を探究し、まとめる。

### 3 人権教育を通じて育てたい資質・能力

人権を支援し、擁護するために活動している国内外の機関等についての知識を身に付け、その活動の目的や内容について理解する。（知識的側面）

### 4 指導のポイント

#### （1）知的理解を図る上で大切にしたいポイント

- テーマ設定において、これまでの地理的分野、歴史的分野、公民的分野で学習した内容の関連を図り、関心・意欲や課題意識を高めさせる。
- 導入の中で、様々な視点からテーマを設定させ、「よりよい社会・持続可能な社会の形成のために、何が課題で、どのように解決を図っていくことが望ましいのか。」というレポート作成のねらいや作成の流れを理解させる。
- 人権を支援し、擁護するために活動している国内外の機関等については、単なる名称などの知識の習得に終わることなく、活動の目的や内容を理解し、課題解決に向けて自分たちが今後できること、自分たちの持つべき意識とは何か、などについても考えさせる。
- 事後指導では、レポートの掲示を行い、情報の共有を図りたい。そのためにも、読みやすさ、わかりやすい資料の提示を意識させて作成させる。
- 事前事後の取組として、朝の会や帰りの会で時事的なニュースを発表する機会を設けるなど、社会の出来事に興味・関心に持たせる工夫をする。

## (2) 人権が尊重される授業づくりの視点

### ①自己存在感

レポートを作成していく中で、様々な気付きやアイデアを大切にし、その思考過程や学習過程を認めていく。

### ②共感的人間関係

中間発表や調べたことを図に整理していく場面において、友達の発言のよさに気付き、学ぼうとする態度を育てる。

### ③自己選択・決定

一人一人の興味、関心に応じて、テーマと解決すべき課題を選択・決定させる。

## 5 学習の流れ

### (1) 指導計画（5時間取り扱い）

学習活動	人権尊重の視点を踏まえた指導上の留意点等
<p>1 単元の目標をふまえ、よりよい社会、持続可能な社会を形成するための観点からテーマを設定し、自分のレポートの課題を設定する。</p> <p>○レポート作成の計画を立て、調べる内容や方法を確認する。</p> <p>○資料を探したり、読み取ったりしながら作成を進める。その際、課題解決に関わっている国内外の機関等についても調べる。</p>	<p>○これまでの社会科の学習を振り返りながら、よりよい社会、持続可能な社会を形成するために自分たちにどのようなことができるのかを考え、テーマと解決すべき課題を決定させる。なお、テーマ設定等が難しい生徒には、具体的な例の提示などを行う。</p> <p>○レポート発表の班編成は個人のテーマ決定後に行い、様々な課題を比較・検討できるようにする。</p>
<p>2 レポートの作成を行う。</p> <p>○計画にそって、資料を探したり、読み取ったりしながらレポートの作成を進める。その際、課題解決に関わっている国内外の機関等の活動の目的や内容について調べる。</p>	<p>○レポートを作成していく中で、生徒の様々な気付きや課題解決へのアイデアなどを認め、助言も行いながら一人一人に自己存在感を持たせる。</p> <p>○解決すべき課題について、対立と合意、効率と公正などの見方や考え方を活用して、多面的・多角的に考察するよう助言する。</p>
<p>3 班の中で中間発表を行い、レポートの工夫改善を行う。</p>	<p>○班の中での中間発表において、友達の発言のよさに気付き、自分のレポートを見直す機会をつくる。</p>
<p>4 レポートを完成させる。</p>	<p>○テーマについて多面的にとらえさせ、様々な資料を活用し、レポートの内容を充実させる手立てを助言する。なお、作成の中で困り感のある生徒には、具体的な参考資料の提示などを行う。</p>
<p>5 班の中で、それぞれのレポートをもとに、課題解決の方法を図に表し、自分の考えを深める。（本時）</p>	<p>○レポートの要点を発表し合う中で、友達の意見から学ぼうとする態度を意識させる。</p> <p>○様々な課題を解決していくためには、人権を支援し擁護する視点が大切であることに気付かせる。</p>

## (2) 人権尊重の意識と実践力を養う学習活動例 (5 / 5 時間目)

### 目標

◇よりよい社会、持続可能な社会の形成に向け社会参画するためには、様々な解決すべき課題があることを理解するとともに、それらを解決していくための知識を身に付け、これからの生き方や自分にできることについて考える。

### 人権教育で育てたい資質・能力

◆人権を支援し、擁護するために活動している国内外の機関等についての知識を身に付け、その活動の目的や内容について理解する。

主な学習活動	○指導上の工夫・留意点 評価◇◆	備考
1 これまでの授業を振り返り、本時の学習の流れをおさえる。	○単元のまとめとなる時間であることを確認し、本時の学習の流れを確実に押さえる。	レポート用紙
よりよい社会、持続可能な社会の形成に向けて、様々な課題を解決する方法について考えよう。		
2 班の中で、レポートを基に課題解決について話し合う。 (1) レポートの要点をワークシート個人用に整理し、付箋に記入する。  (2) 付箋をワークシート班用中の図に貼り付けながら、レポートの要点を発表する。  (3) よりよい社会、持続可能な社会の形成に向けて、どのような視点で解決を図っていけばよいか、ワークシート班用の図を見ながら話し合う。	○お互いへの感想も交換させ、共感的人間関係づくりを行う。  ○相互の課題解決に向けて、公平・公正・平等の視点から話合いができるよう助言する。その際、課題解決に関わっている国内外の機関等の活動の目的や内容についても触れさせる。	付箋 ワークシート ・個人用 ・班用
3 各班の発表を行う。	◆互いのレポートを基に、課題解決への図を書くことができている。その際、人権の大切さや支援、擁護の活動をしている機関等の果たす役割についても気づきを書くことができている。	ワークシート ・班用

<p>4 これからの生き方や自分にできることについて考える。</p>	<p>○課題解決に向けて自分たちが今後できることや、自分たちの持つべき意識について、考えさせる。</p> <p>◇これまで学習した内容を含め、これからの自分の生き方やできることについて書くことができている。</p>	<p>・個人用</p>
<p>5 発表を行う。</p>	<p>○生徒たちの気付きや理解の深まりをクラスの中で広げ、まとめを行う。</p>	

## 6 資料

- 東京書籍 新しい社会 公民  
「終章 よりよい社会をめざして」 pp.175～186
- 教育出版 中学社会 公民  
「持続可能な未来へ」 pp.206～212
- 帝国書院 社会科 中学生の公民  
「1章 よりよい社会をめざして」 pp.204～209

「よりよい社会、持続可能な社会の形成の向けて」  
～様々な課題の解決方法について考えよう～

3年 組 氏名 ( )

①テーマ

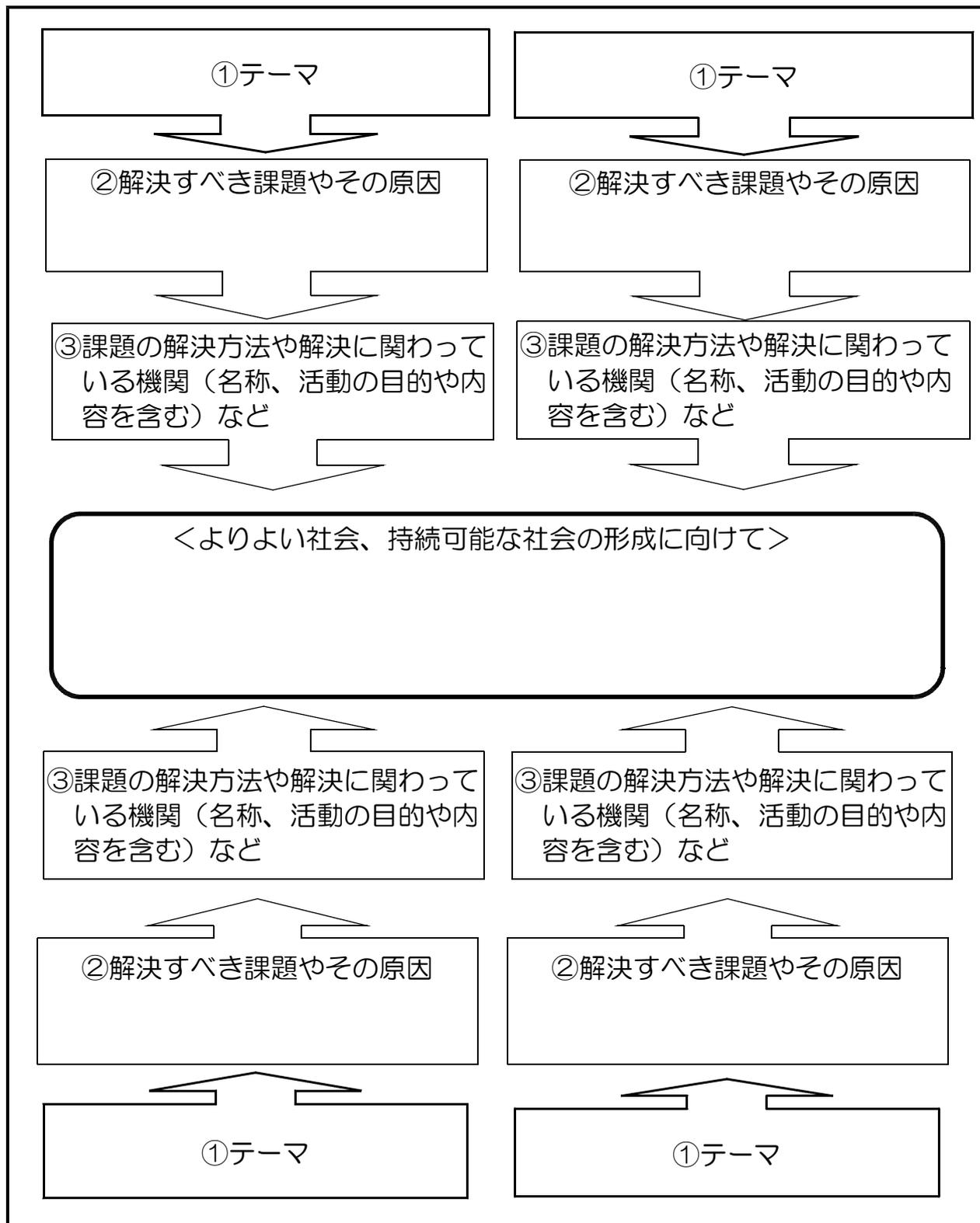
②解決すべき課題やその原因

③課題の解決方法や解決に関わっている機関（名称、活動の目的や内容を含む）など

よりよい社会、持続可能な社会の形成に向けて

これからの生き方や自分にできることについて書いてみよう。

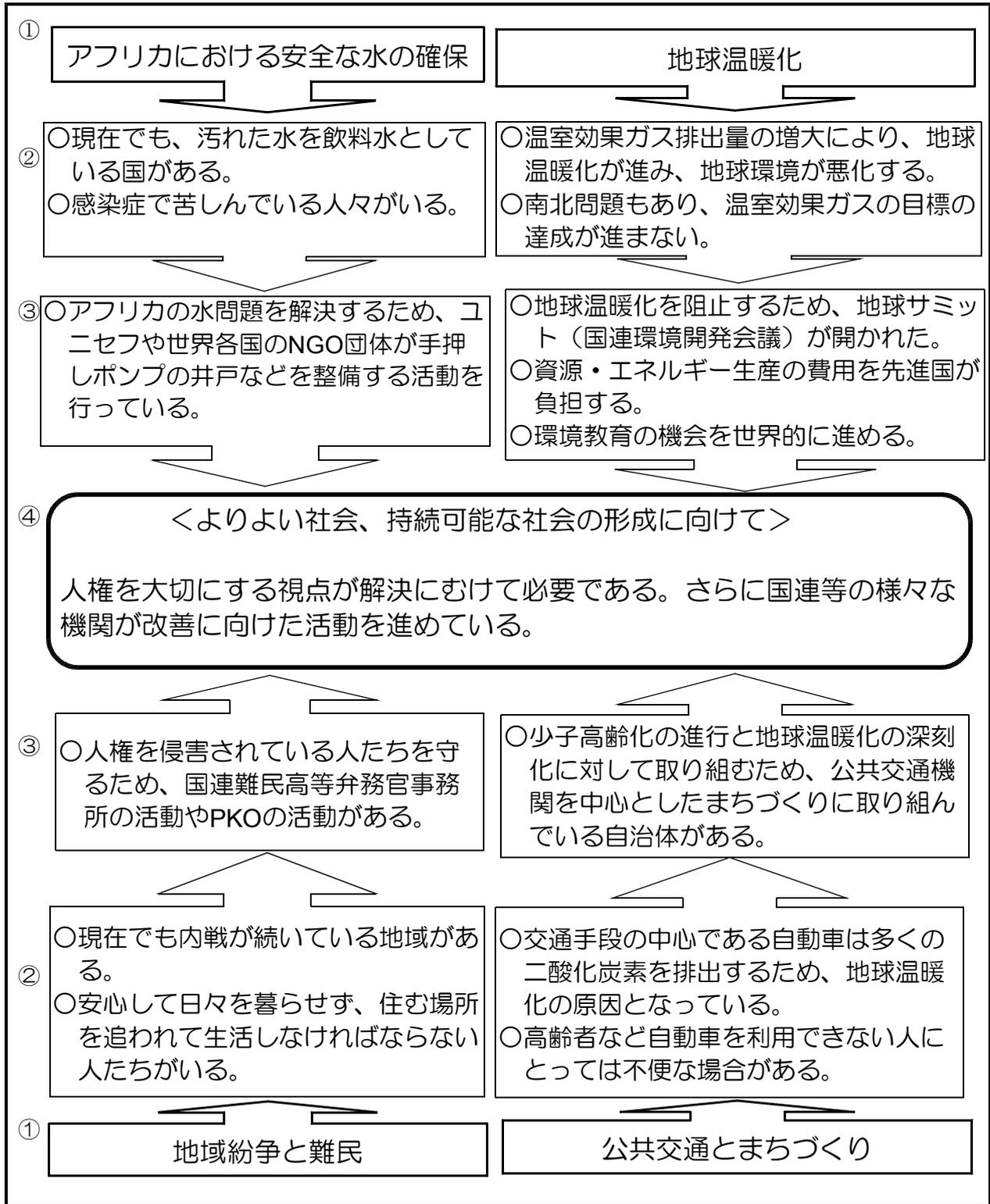
【ワークシート班用】



進め方

- (1) 付箋を①～③に貼り付けながら、レポートの要点を発表する。
- (2) よりよい社会、持続可能な社会の形成に向けて、どのような視点で解決を図っていけばよいかを話し合う。

【教師用 完成予想図例】



記入内容の具体例について

- ① レポートテーマを記入する。
- ② 解決すべき課題やその原因について記入する。
- ③ 課題の解決方法や解決に関わっている機関等（名称、活動の目的や内容を含む）について記入する。
- ④ 様々な課題を解決するための視点や活動している機関等について気付きを書くことができる。（評価）